

1 審議会名	上田城南地域協議会
2 日時	令和4年3月15日 午前10時00分から正午まで
3 会場	城南公民館 1階 大ホール
4 出席者	相田委員、市川委員、江藤委員、小林委員、竹内委員、田玉委員、龍野委員、 田中委員、西入委員、松田委員、宮坂委員、宮澤委員、安江委員、柳澤委員、 山岸委員、横山委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】滝澤城南地域振興政策幹、堀内市民参加・協働推進課長、山田危機管理 防災担当課長、酒井商工課長、緑川広報シティプロモーション課長、橋 詰課長補佐地域包括ケア推進係長、片山地域内分権推進担当係長、滝沢 地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	公開 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和4年3月31日

協 議 事 項 等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項

(1) 意見書(市長提言)に対する回答

担当課長から資料に基づき説明

以下、質疑応答

防災部会「地域防災について」

(委員)提言(2)について、自分の自治会では令和元年台風19号の時、鉄橋が落ち道路が崩れるという事態に遭遇した。迅速な周知が必要だと痛感し、クラウドでアプリを調達して、スマートフォンのショートメッセージを使った周知ができるよう既に動いている。上田市からの配信メールは全戸避難という情報で、得られる情報が少ない。自治会として行いたいのは、危険と判断される範囲の住民へ即避難の指示を出すことである。

令和元年台風19号災害の翌年に自治会長だったので、防災関連の予算を立てたが、前例がないため助成金が出せないという回答をもらった。動き出している予算内容は、web回線を引き、ソフトの維持費月1,600円の年間2万円弱である。災害が発生した時に、スマートフォンの回線を使うことにより、回線が混み合ってしまうため、上田市に合ったIT化を検討していただきたい。

(委員)ICTの整備ということで、避難所に対するWi-Fi環境の整備が進んでいる自治会と、そうでない自治会があり、一概には言えないが、ICT関連の整備に対する支援や補助は今後どうなるのか。

(危機管理防災課長)指定緊急避難場所である大きな体育館や施設については、Wi-Fiの設置を進めているが、第一次避難場所の公民館等にはバラつきがある。今、自主防災組織の資器材の補助事業があり、発電機やテントが該当品目になっているが、今はUCVケーブルを引く初期費用も対象としている。今後、自治会連合会のホームページの立ち上げや、防災の関連も含めて、Wi-Fi環境を構築できる分野を一つの項目として検討している。

来年については意見書で要望をいただいているので、今後、調整をさせていただく。

高齢者福祉部会「高齢者の介護予防・認知症予防に関する地域としての取組みについて」

(委員)講習会に参加した方を、要介護、認知症には絶対なりたくないという気持ちにすることができるか。介護現場や認知症の実態を、事例を元に動画などで皆さんに知ってもらいたい。地域の人々の介護、認知症予防への取り組み方も変わってくるのではないか。

地域リハビリテーションやサロンなど複数あるが、回数としてはほとんどが月1回開催などの状況である。形はあるが、有効的なのかという点、今一つ足りない。もう少し実行性の上がる形で、少なくとも週1回は行っていけるような体制づくりを取らないと意味がない。

形ではなく、どれくらい効果が上がったのか、その確認もしていきたい。また、そのようなことを市の方にもお願いしていきたい。

他人事ではないということを伝えてもらいたいので、リアルな実態、現場を市民の皆さんに提供して、何とかしていこう、という気持ちにさせることが先決である。

(高齢者介護課長補佐)講演会、講習会について、生活支援体制整備事業の方で、各包括の生活支援コーディネーターにご連絡いただければ、講師を呼ぶことや、認知症の実態について要望に合うDVDがあれば、講演会、講習会をすることも可能である。

地域リハビリテーションについては、確かに今、月1-2回のところがほとんどで、なかなか週1回というのは難しい。市で推進しているB型事業で、城下地区では2地区行っているが、住民の皆さんが月1回ではなく週1回やろう！というように、住民の皆さんがやる気にならないと長続きしない。できるだけ住民の皆さんがまとまって、意識を高められると非常によい。

データの関係だが、地域リハビリテーションについては、健康推進課と高齢者介護課で一体となって、片足立ち何秒、立ち座りがどのくらいできるかのデータを取り、半年後にもう一度データを取ってどれくらい改善したのか、維持できたのか、落ちてきたのか、を調査している。来年も継続して行うことにしているので、週1回のB型事業が立ち上がれば、最初のところで計測をして、何か月後かに再度計測し、効果を確認することができる。効果が確認できれば、モチベーションを保つこともできる。

(委員)B型事業を推進していきたい。

(委員)回答書(5)の中に生活支援対策整備事業で協議体を設置されているという話だが、部会長の意見をそこで取り上げていただきたい。

(高齢者介護課長補佐)協議体については各地域包括支援センター単位で設置している。城下地区の包括ということでよろしいか。

(委員)まずは地元からで、できれば全市的に広がっていけばよい。

(高齢者介護課長補佐)第二層のコーディネーター連絡会や、第一層協議体もあるので、その席で各包括の方をお願いしたい。

産業振興部会「地域店舗の利用促進と各関連組織や行政との連携体づくりについて」

(委員)商工課の「もん」について、1年間は実証実験ということで、現状はどのような状態なのか。4月以降はどうなるのか、具体的なことをお聞きしたい。

(商工課長)現状ユーザー数が2,000人を超え、お店も130店舗程に増えてきている。実証実験の期間について、元々3月末までということだったが、コロナウイルスの影響が長引いていることにより、イベントを含めてアクティブな活動が制限されていたということもあり、延長をお願いしている。今のところもう1年延長して実証実験をさせていただき、対応していきたいと考えている。まずは提言いただいた内容をお聞きしながらスモールスタートをして、努めていきたいと考えている。

(委員)SNSは若い人達は活用できるが、事業者は高齢の方が多く、SNSの設定から活用するまで本当に大変である。講習会をもっと多く、幅広くやっていただきたい。

チケットQRがとても好評で地元のお店が賑わっていた。飲食店の方にも聞いたが、高齢の方でもチケットQRを使いたい、と言ってその場で説明したという。チケットQRはかなり広まったのではないかな。

ただ、「もん」は通貨が普通とは違うので、事業所が使うに当たり、理解し、どのように発信すればよいかということまで含めると、ゼロから始めるという人が多いので、講習会などを定期的に行っていかなないと、事業所も面倒だからやらないということになる。

(商工課長)市でもチケットQRを導入する際に今言われたようなご要望が、利用者とお店の方それぞれにあるということは理解していたので、公民館単位に利用者向けと事業者向けに12回以上説明会を開催した。ケータイショップにも依頼して、相談を受けてもらい、各地域自治センターや本庁商工課でも職員が細かい対応をさせていただいたところ、開始当初はインストールできないなどの話はあったが、すぐに問い合わせも減った。いただいたご要望については、恐らくそのような話だと思うので、ツイッターのやり方を知りたいということであれば、マルチメディア情報センターなどの専門機関に依頼し、講習会につながりなどして、対応させていただきたいと考えている。

(委員)行政チャンネルについて、住民自治組織で予算を取って城南地域のお店を紹介したい。それを行政チャンネルで紹介することはできるか。

(広報シティプロモーション課長)ケースバイケースになるかとは思いますが、一つのお店を限定して紹介するというような切り口からだと、公平性という面で難しくなる。例えば住民自治組織の取り組み内容を紹介するような形の番組であれば、市の媒体を使うことも可能になってくる。ただ単に一つのお店の営利につながるということになると、市の媒体を使うということは難しい。行政チャンネルでは、全市的な取り組みとして広く周知していきたいもので、一つの固定したお店の営利につながるようなものでなければ、紹介していくことが可能かもしれない。

チケットQRも行政チャンネルで動画を作ったが、あくまでもチケットQRの使い方を紹介するという動画で作っている。作り方や何を伝えていきたいかで、若干違ってくるため、関係課を含め相談いただく中で検討していきたい。

(委員)どのようなものであれば載せらせる、ということが具体的に分かってくれば、可能ということか。

(広報シティプロモーション課長) まずはどのようなものをあげたいかをお聞きし、それが行政チャンネルで公開できるものかどうかという検討になる。

(会長) 基本的にはこれからのことは住民自治組織の方でやることになる。お客さんと店舗のマッチングには、どうしても店舗名が出てくることになるので、そこら辺が難しいのではと感じた。

(広報シティプロモーション課長) 一つのお店を紹介していくようなものだと、市の媒体を使って公開することは難しくなるかもしれないので、住民自治組織で作成して、住民自治組織で発信していく。という形を取っていただくようになる。

(2) 令和4年度わがまち魅力アップ応援事業選考審査

【事務局から資料を基に説明】

「千曲清流会」一採択

4 その他

(1) 第8期上田城南地域協議会のまとめ

(2) まちづくり講演会について

(3) 城南地域協議会だよりについて

(4) 委員から一言

5 閉会